

- 問1 1967年に制定された公害対策基本法が成立した背景と、その内容についての説明として最も適切なものはどれか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. オイルショック後の資源不足に対応するため、エネルギーの使用合理化と公害防止を同時に達成することを目的に制定された。
 2. 高度経済成長期に深刻化した公害問題を解決するため、環境基準の策定や事業者の責任を明確に定めた。
 3. 地球温暖化などの地球環境問題が深刻化したため、自然環境の保護と公害対策を総合的に進めるために制定された。
 4. 都市化によるゴミ問題や騒音などの「都市型公害」の解決を主眼に置き、地方自治体に強い規制権限を与えるために制定された。
- 問2 現代社会において非営利組織（NPO）が果たしている役割やその性質についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 国や地方公共団体の補助金のみを運営原資とし、行政の指示に従って公共事業を代行する性質
 2. 行政の手が行き届きにくい多様な社会課題に対し、市民の立場から柔軟な支援や活動を行う役割
 3. 株主への配当を最大化することを目的とし、市場経済の競争を通じて経済を活性化させる役割
 4. 公務員によって構成される組織として、法律に基づき公平・平等に権力を行使する役割
- 問3 「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」が掲げる子どもの権利には、大きく分けて「生存」「発達」「保護」「参加」の四つの柱があります。このうち、子どもに関係のあることについて自由に自分の意見を表明したり、グループを作ったりする権利を指す言葉として適切なものはどれか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. 生存の権利
 2. 発達の権利
 3. 保護の権利
 4. 参加の権利
- 問4 近年、日本国内の課題である子供の貧困や孤立に対応するため、NPO団体と地方自治体などが連携し、子供たちに対して無料または安価で食事や居場所を提供する活動が全国で広がっています。この社会的な取り組みを何と呼びますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. フードバンク
 2. シルバー人材センター
 3. 子ども食堂
 4. フェアトレード
- 問5 第二次世界大戦への反省から、1948年に国際連合総会で採択された、すべての人間が生まれながらにして自由であり、尊厳と権利について平等であることをうたった宣言を何といいますか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 児童の権利に関する条約
 2. 世界人権宣言
 3. 国際人権規約
 4. 人権宣言
- 問6 インターネットを介した犯罪やトラブルについて、警察などの窓口への相談件数は増加傾向にあります。相談内容の内訳として「詐欺・悪徳商法」や「不正アクセス」と並んで多く見られる、個人の名誉を傷つけたり、根拠のない悪口を書き込んだりする行為を何といいますか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 知的財産権の侵害
 2. 名誉毀損・誹謗中傷
 3. デジタルデバイドの解消
 4. 情報リテラシーの向上
- 問7 駅や空港などの公共施設では、乳幼児用施設やスロープ、手話対応などを表す「ピクトグラム（絵文字）」が多用されています。このように、文字による説明ではなく図案化された記号を用いる主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 看板の制作費用を抑え、施設内の広告スペースをより多く確保するため
 2. 視覚障害を持つ人が、図案の形を触ることで情報を把握できるようにするため
 3. 特定の施設や設備を、限られた対象者のみが利用するように制限するため
 4. 言語や年齢が異なる多様な人々が、直感的に意味を理解できるようにするため
- 問8 民主政治における合意形成の場面で重視される「効率」という考え方の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 対立を解決する際、特定の個人が不当な不利益を被っていないかを確認すること。
 2. 誰もが平等に話し合いに参加できる機会を保障すること。
 3. 限られた資源を活用し、無駄を省いてより大きな成果が得られるようにすること。
 4. 多数決の結果に従わない少数意見を、社会の調和のために排除すること。
- 問9 現代社会において、物事を決める際に「手続きの公正さ」が重視される理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 決定の過程に参加することで、自分の意見が反映される機会が保障され、納得感が高まるから
 2. 専門的な知識を持つ特定の人々だけで判断したほうが、客観的に正しい結論が出るから
 3. 時間をかけずに素早く物事を決定することで、社会的な無駄を省くことができるから
 4. 最終的に全員が全く同じ利益を得られるように結果を調整することが可能になるから
- 問10 高度経済成長期以降の日本において、核家族世帯が増えた背景を説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
1. 高齢化が進んだことにより、親との同居を希望する若年世帯が増加したため
 2. 都市部への人口移動が進み、若年層が親の住む郷里を離れて独立した世帯を形成したため
 3. 地方の農村部において、農業の労働力を確保するために三世代同居が推奨されたため
 4. 出生率が急激に上昇し、一世帯あたりの子どもの数が増えたことで大家族が解体されたため
- 問11 日本において、出生率の低下による子供の減少と、平均寿命の伸長による高齢者の割合増加が同時に進む「少子高齢化」の統計的推移について、2013年と2060年の推計値を比較した記述として正しいものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 19歳以下の人口割合が上昇し続けることで、2060年には若年層が人口の過半数を占めるようになる。
 2. 2013年には約25%であった65歳以上の割合が、2060年には約40%へと上昇すると予測されている。
 3. 医療技術の進歩により平均寿命が延びるため、2060年には総人口が2億人を超える予測となっている。
 4. 2013年から2060年にかけて、高齢者の人口が総人口の減少スピードを上回って減少するため、高齢化率は低下する。
- 問12 情報化社会において、個人に関する情報が外部に漏れる「個人情報の流出」は深刻な問題となっています。ある統計資料によると、個人情報の流出原因として「不正アクセス」は約5%にとどまる一方で、「誤操作」「管理ミス」「紛失・置き忘れ」を合わせた割合は約8割に達しています。このことから読み取れる、個人情報流出の主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 外部からの悪意ある攻撃よりも、情報を扱う側の不注意や管理不足といった人為的なミス
 2. サイバー犯罪者による高度なプログラミング技術を用いた組織的なデータの窃取
 3. インターネット利用率の低下にともなう、セキュリティ意識の全般的な希薄化
 4. 情報通信技術の未発達による、コンピュータシステムの技術的な欠陥や作動不良
- 問13 18世紀のフランスの思想家で、著書『社会契約論』の中で、国家の主権は国民にあるという「人民主権」の原則を主張し、後のフランス革命の精神的な支えとなった人物は誰ですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. ヴォルテール
 2. モンテスキュー
 3. ジャン・ジャック・ルソー
 4. ジョン・ロック